

パブリックコメントでお寄せ頂いたご意見と回答一覧

- 案 件

■募集期間

■意見を提出できる方

■募集方法

■意見提出者数及び提出件数
- 大潟村第2期自殺対策計画（案）に対する意見

令和6年3月4日（月曜日）～令和6年3月14日（木曜日）

「大潟村に住所を有する方」、「大潟村に事務所または事業所を有する個人・法人等」および「大潟村に通勤・通学する方」

「大潟村公式ホームページ」、「大潟村役場福祉保健課課の窓口」および「大潟村保健センターの窓口」での閲覧

提出者数 1名、提出件数 1件

意見 番号	該当ペー ジ・行	ご意見の要旨	村の回答	計画修正 の有無
1	全体	たくさんのことが盛り込まれているが、もっとシンプルにすることも必要ではないか。	健康上の問題、経済的な問題、人間関係の問題など、様々な課題やリスクが複合化・深刻化することで自殺のリスクは高まります。 そのため、その対策も多岐に渡っております。 ご了承ください。	無
2	30ページ 住民への啓 発と周知	村に住んでいて、困難に直面したとき、まず、「なんでも相談の社会福祉協議会に相談する。」 ということの村民への周知が徹底されること。なので社会福祉協議会の最初の対応が重要と思う。	村としても、社会福祉協議会と連携して対応していくことが重要であると認識しており、相談先として周知をしていくことは重要だと考えております。 ただ、匿名での相談を希望する人もいますと考えられます。 相談先＝社会福祉協議会とすると、小さな村であるため相談相手を知り合いとなる場合もあり、相談をためらう場合もあると考えられますので、相談先として社会福祉協議会はもちろん、他の相談先も併せて周知に努めてまいります。	無

3	33ページ 児童生徒の sosの出し 方に関する 教育	DV等の相談窓口のお知らせは、役場等お手洗いの個室にカードが置いてあるので、情報が得やすくなっていると思う。学校のお手洗い個室にも相談窓口カードを設置してあるとよいと思う。	34ページに記載がありますが、児童・生徒向け相談窓口の情報提供として、児童生徒向けの相談窓口の情報提供を行い、相談機関の周知を図ることとしています。 現在、小学校・中学校へは、電話・チャット・ライン等で心の相談ができるところを紹介したチラシを毎年配布しており、保健室および各教室に掲示されております。 相談窓口カードの設置については実施を検討し、今後も相談先の周知に努めてまいります。	無
4	34ページ 児童生徒・ 若者への対 策	子供たちには、困難に直面した時に、逃げてもいいことのあることが伝わっているといいと思う。	33ページに記載がありますが、児童生徒のSOSの出し方に関する教育として、社会における様々な困難やストレスの対処方法を身につけるための教育（SOSの出し方に関する教育）を実施することとしています。 令和5年度より、小中学校で「SOSの出し方講座」を開催しており、この講座で、つらいときは一人で抱え込まず周囲に相談することが重要であるという事などを話しております。 この事を通じて、どうにもならない困難に直面した場合の対処法を学んでおります。 こういった啓発は、大人になってからも有用ですので、講座の開催を継続していきます。	無
5	31ページ 生きること の促進要因 への支援	日本人は、マイナス思考に陥りやすいが、「どうにかなる、明日は明日の風が吹く」のような村全体の雰囲気、いつも明るくできればいいと思う。	6ページに記載されていますが、自殺対策計画は、他の各種計画と連携し、整合性をとって策定することとしています。 村の最上位計画である「第2期大潟村総合村づくり計画」では、基本目標の一つとして「地域の絆を大切に、世代間交流が活発で楽しく暮らす村」を掲げ、村内外の同世代や多世代交流、仲間や場づくりの推進等を行っています。 こういった取り組みにより、地域や近所で顔の見える関係を築き、明るい雰囲気を作れるよう努めてまいります。	無